

水平線【院長コラム 2026年2月】

【1959年生まれ】

60才なかば、できなくなったと覚えることが増え、今当たり前と感じていることが以前の当たり前とは全然違うということも多くなった。こんなことを書く年齢になるとは夢にも思っていなかったが、面白く感じる部分でもあるので紹介したい。

あ、あれしなきゃと立ち上がった瞬間に忘れる。トイレで思いついたアイデアが、出た後にあれ？何だったっけとなる。メモは間に合わず、とても歯がゆい。今置いた眼鏡の場所を忘れる。日常生活も仕事もそうだが、できると思っている事ができない。ジャンプしても届かない。できたと思った仕事に何度も訂正を求められる。同時にすることがあったとき、どれかが必ず抜ける。新しいことに対する興味は変わらないが、何でもやってみようという行動力は低くなる。

けれど、これらは見方を変えると次のようにも言いかえられる。行動が慎重になる。時間をかけて考えるようになる。思ったことをすぐに言わなくなる。腹立たしくても言うまでに時間をかける。限られたことにエネルギーを注ぐようになる。

その結果、怒らなくなる。自分がやりたいことを一つ決めればそれに集中できる。自分で考える時間を作り、一度結論が出てももう一度考え直し、これまでの経験を重ねて慎重に慎重にやりたいことを仕上げる。以前の自分ではなく今の自分でないといけないことだと思う。それをこう表現して今の自分を満足させるわけだ。

「トシをとるのも悪くない。楽しいぞ。」